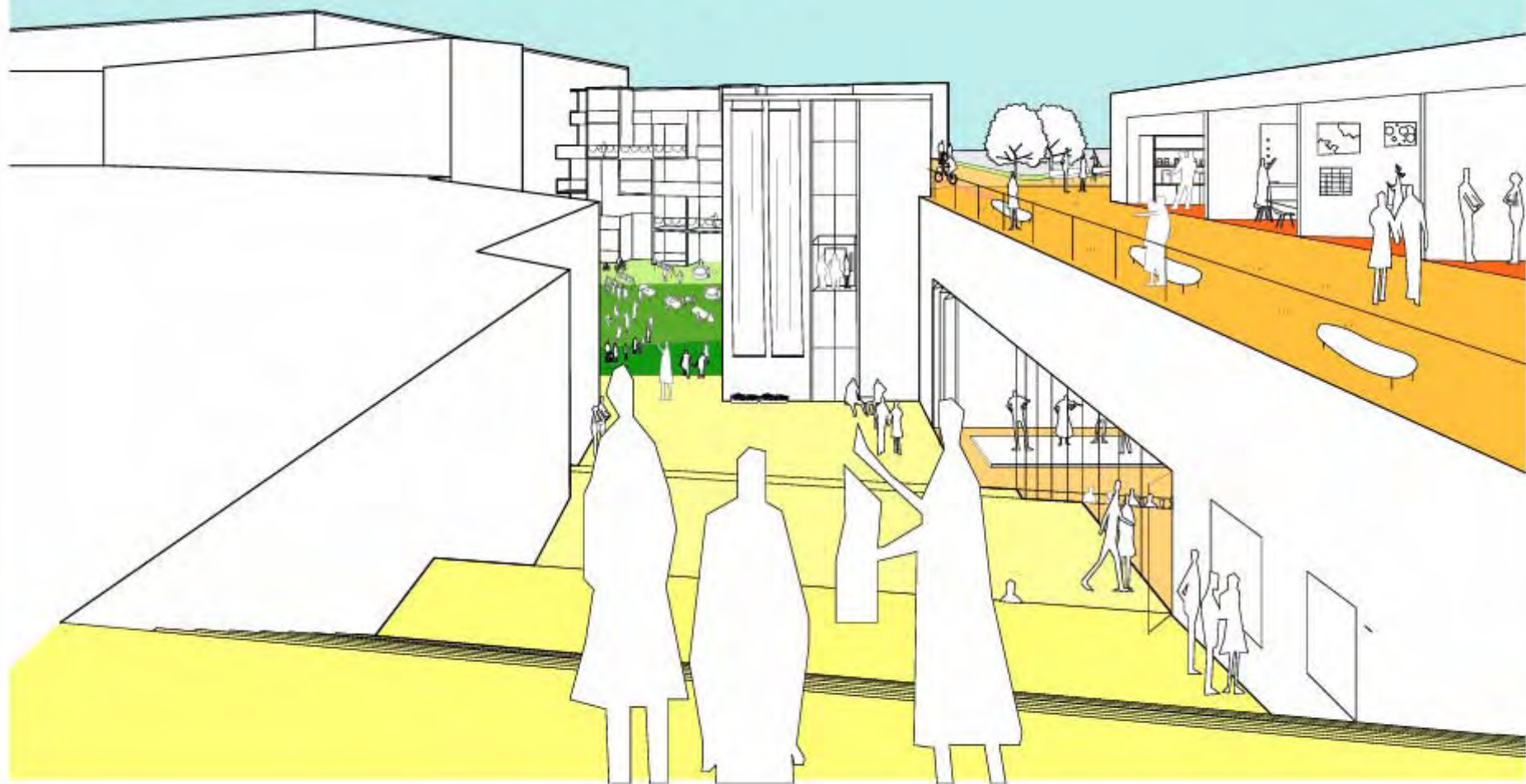


活気に満ちたキャンパスで、  
学生生活を満喫したい。



# 「学生会館」と「体育館」。



学生会館

学生食堂 / 学生ラウンジ /  
多目的室 / 購買



体育館

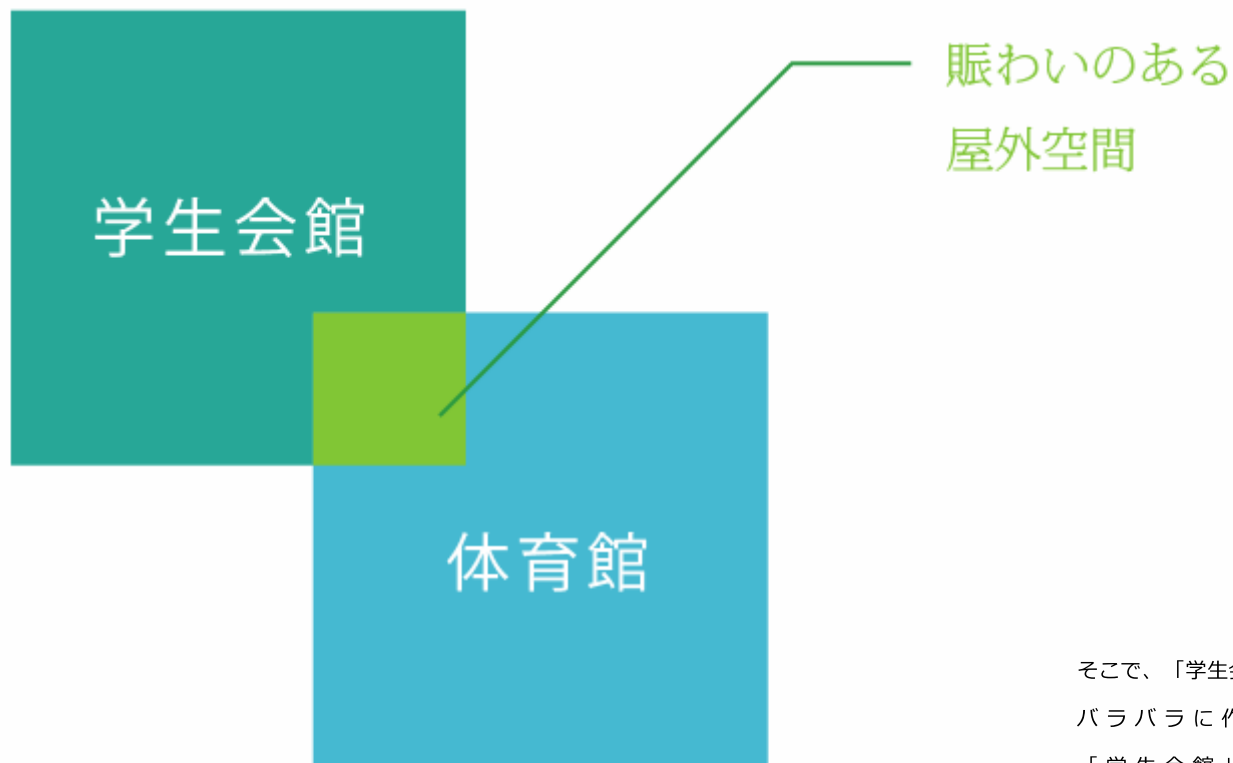
大競技場 / 小競技場 / 柔道場 /  
トレーニング室 / 部室 / 会議室

# 原案：「学生会館」棟と「体育館」棟。



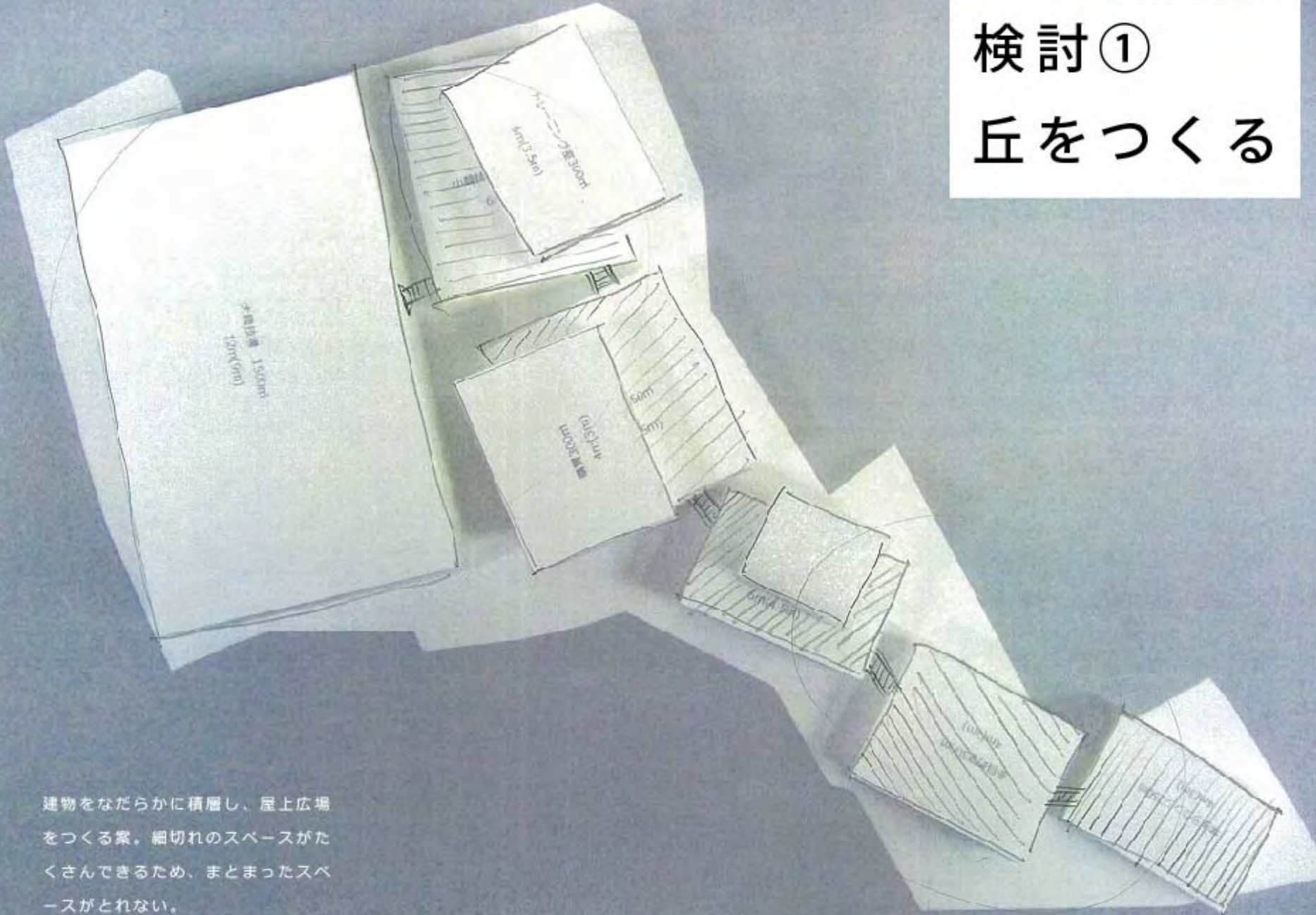
原案を分析すると、道路側より、「学生会館棟」→「体育館棟」という段階的な領域ができている。部活動等に関わらないものは「奥」の空間を享受することも様子を窺い知ることもない。また、外部スペースが確保できていない。

# 「学生会館」 × 「体育館」。



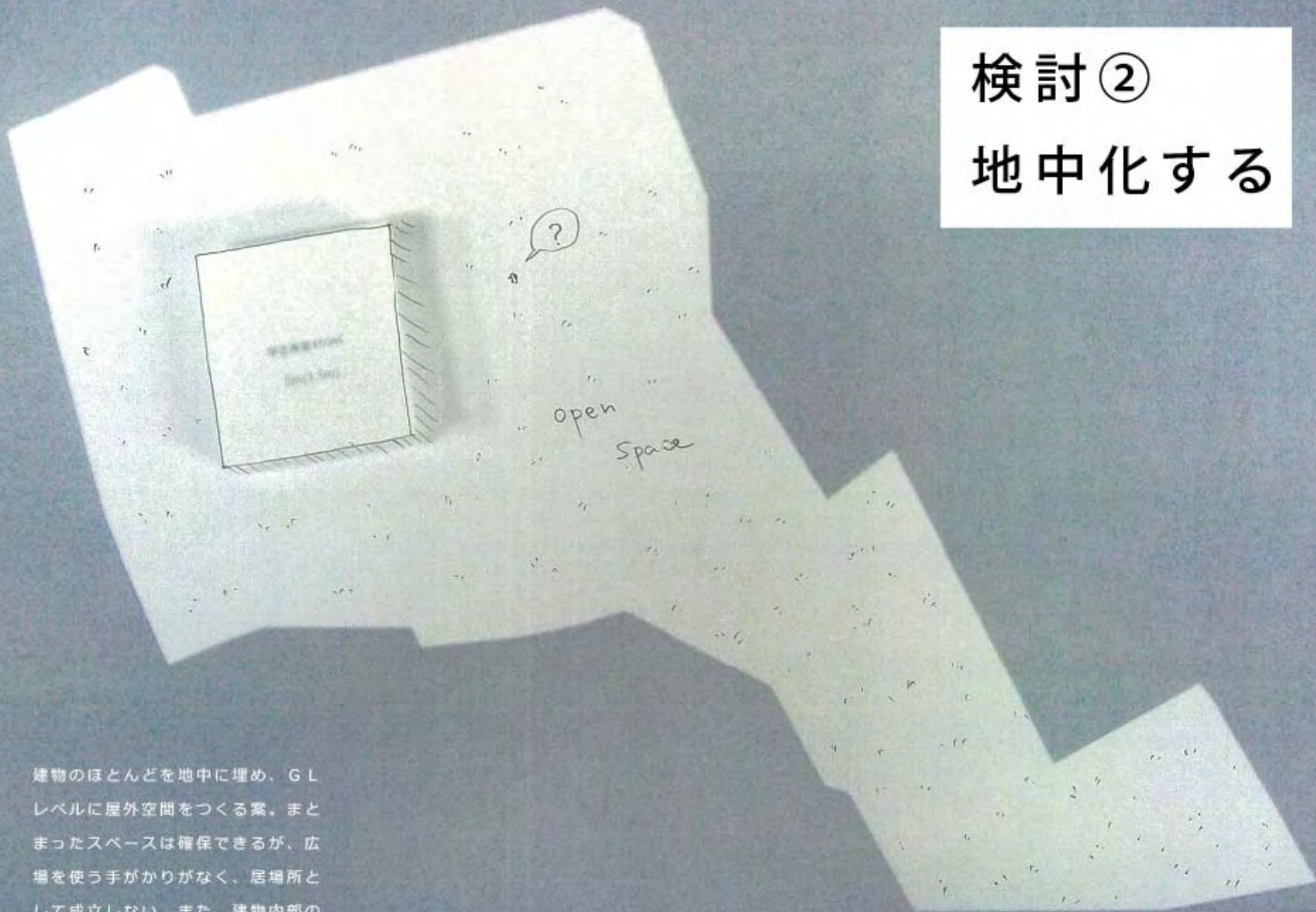
そこで、「学生会館」と「体育館」をバラバラに作るのではなく、「学生会館」と「体育館」を一体的に作りたいと考えた。そして、それぞれが交わる部分を賑わいのある屋外空間にできないかと考えた。

# 検討① 丘をつくる



建物をなだらかに積層し、屋上広場をつくる案。細切れのスペースがたくさんできるため、まとまったスペースがとれない。

## 検討② 地中化する

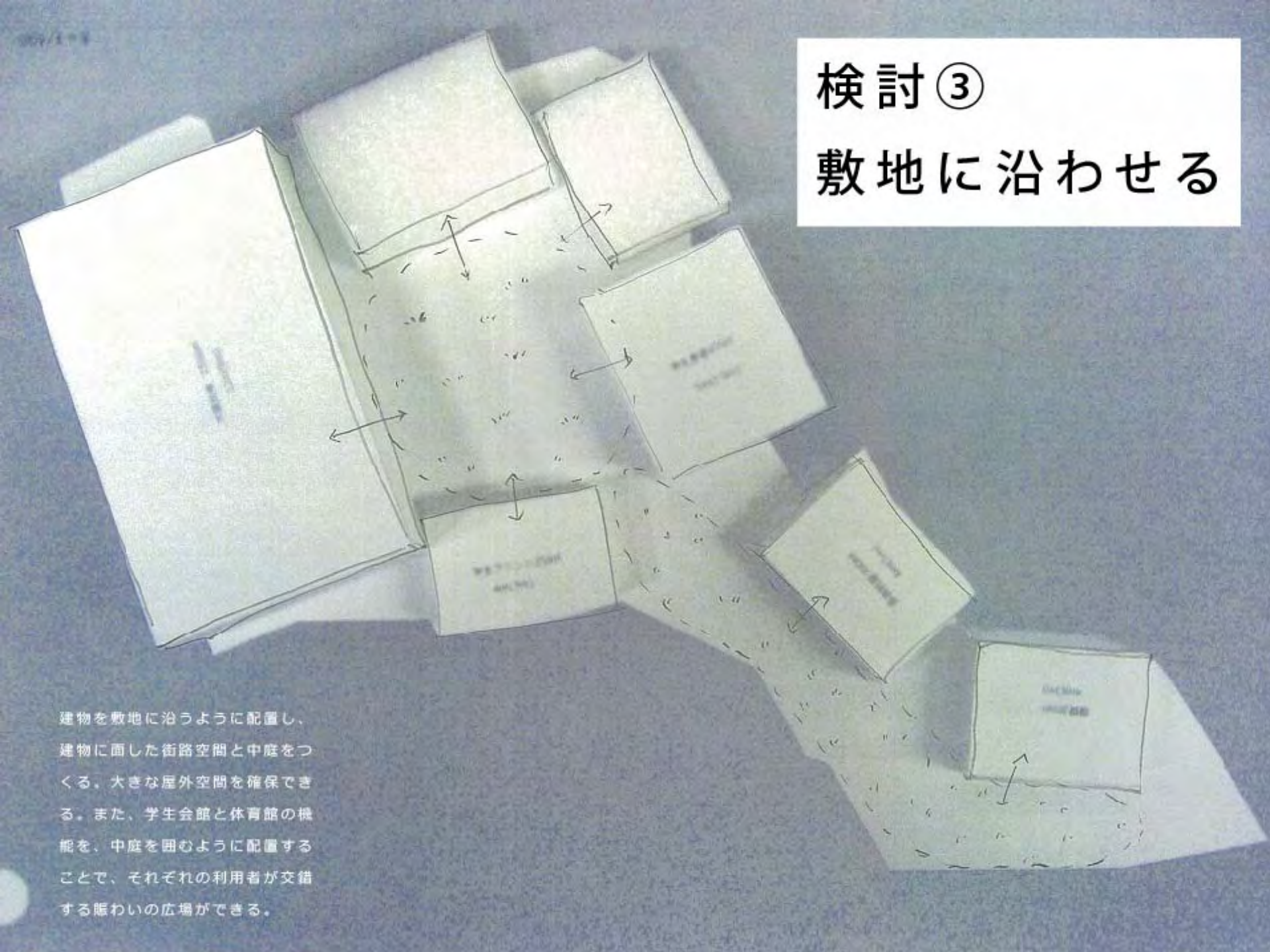


建物のほとんどを地中に埋め、G L  
レベルに屋外空間をつくる案。まと  
まったスペースは確保できるが、広  
場を使う手がかりがなく、居場所と  
して成立しない。また、建物内部の  
賑わいが感じられない。

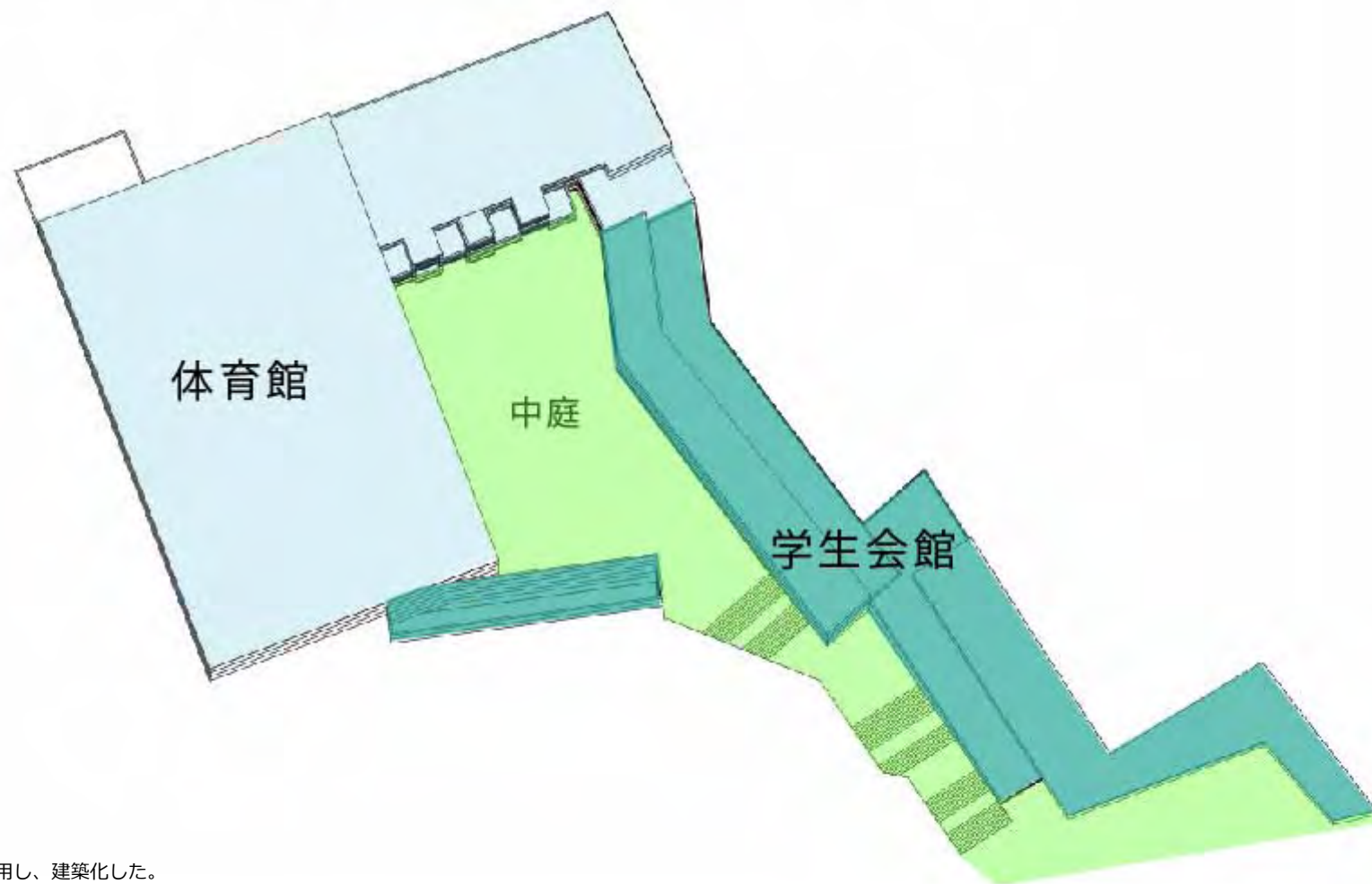
### 検討③

## 敷地に沿わせる

建物を敷地に沿うように配置し、  
建物に面した街路空間と中庭をつ  
くる。大きな屋外空間を確保でき  
る。また、学生会館と体育館の機  
能を、中庭を囲むように配置する  
ことで、それぞれの利用者が交错  
する賑わいの広場ができる。



# 「学生会館」と「体育館」の 賑わいが交錯する屋外空間。

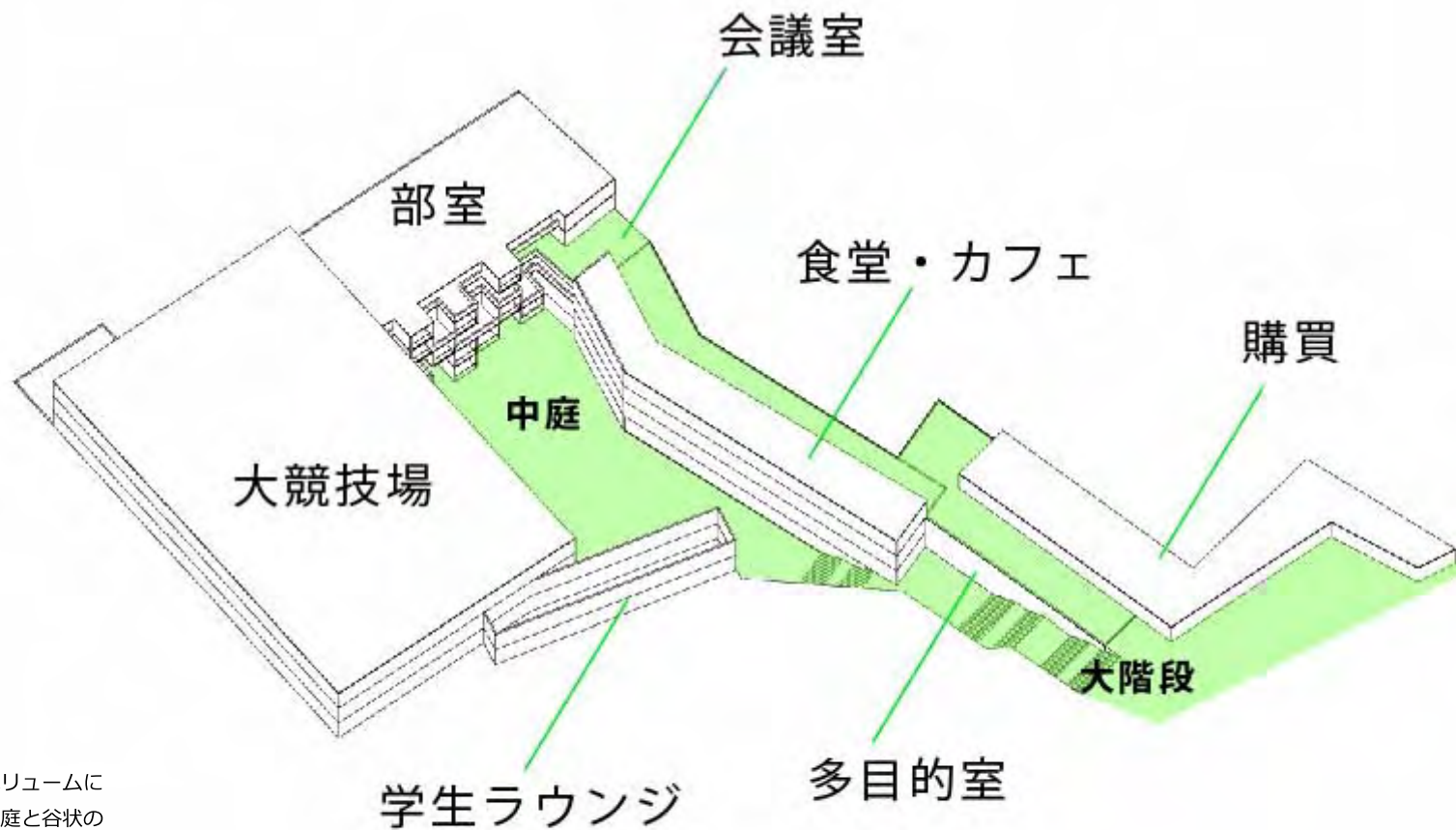


検討③を採用し、建築化した。

中庭を囲むように学生会館と体育館の機能を配置した。



# 常に、屋外空間が建築に寄り添う。



ひとつながりのボリュームによって囲われた中庭と谷状の街路空間を作っている。  
常に、広場が建築に寄り添う形をとる。

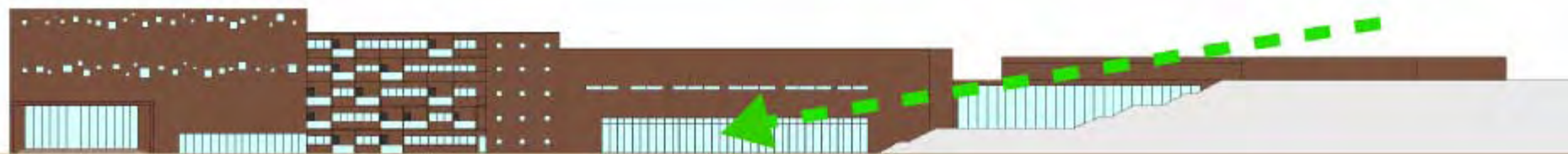
本計画の敷地形状は、入り口が狭く奥が広い変形敷地である。また、別ゾーンに対して道路を跨いでいることから、認知されにくい。そこで、この敷地の奥に行きたくするようなデザイン上の工夫を施した。

奥に行きたくなるデザイン。

# 見下ろし。

一つ目は、レベルを掘り下げて見下ろすこと。目的地が上り坂よりも下り坂の方が心理距離は近くなる。

奥に行きたくなるデザイン。



# 見通し。

奥に行きたくなるデザイン。



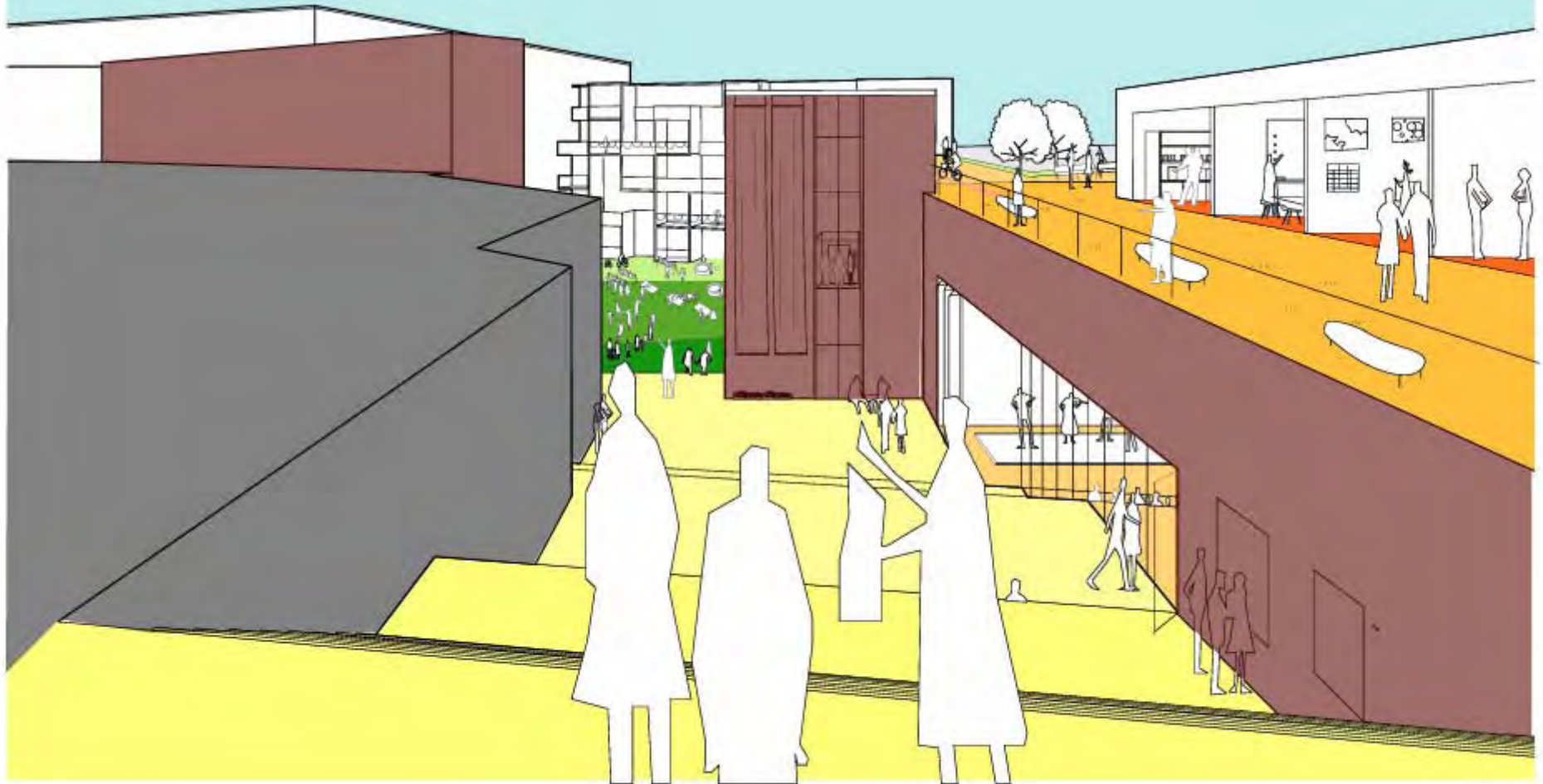
二つ目に、奥の様子がうかがえるよう、奥まで一直線に見通しが利く部分を作った。

1F(GL±0) plan

奥に行きたくなるデザイン。

見え隠れ。

三つ目は、中庭を建物ボリュームによって囲い、階段の空間は谷状とし、全貌が見えすぎないことで、好奇心をあおる効果をねらった。

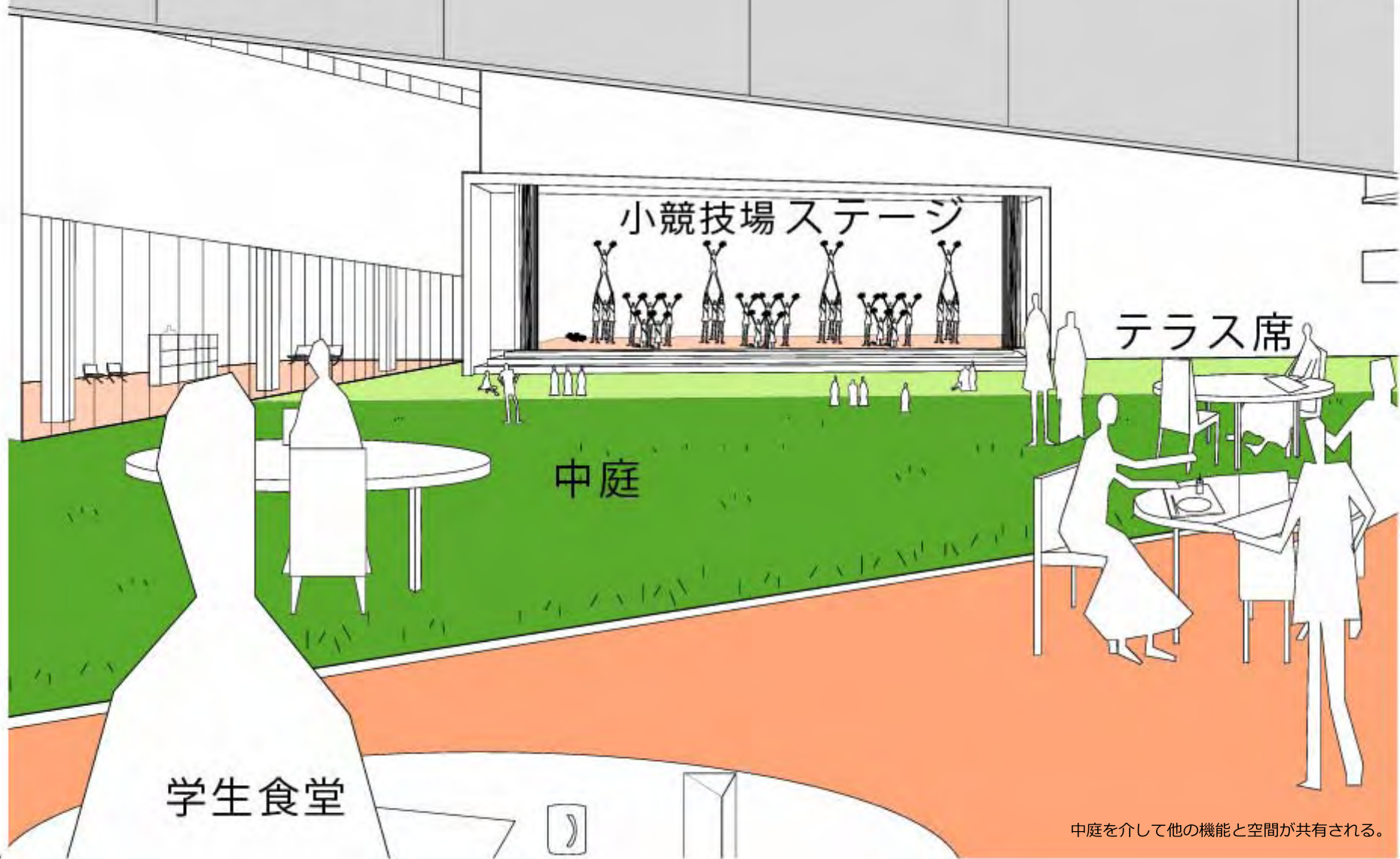


# ひとつながりの施設。

分棟形式ではなく、ひとつながりの施設として機能が連続することで、賑わいが連続する。



# 空間の共有。

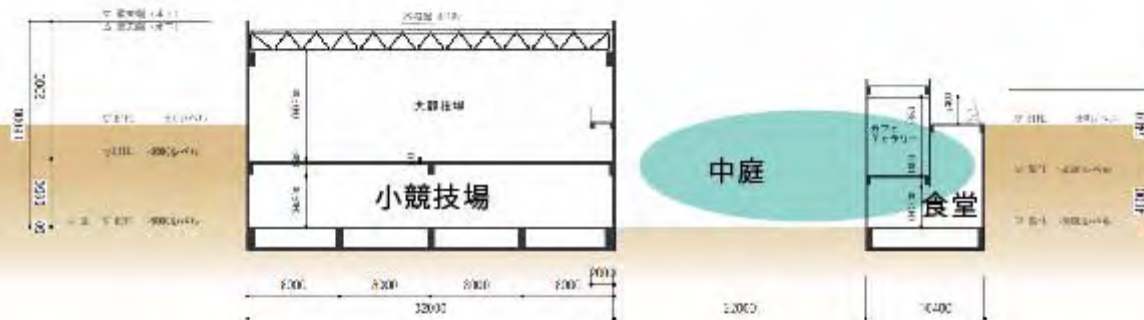


中庭を介して他の機能と空間が共有される。

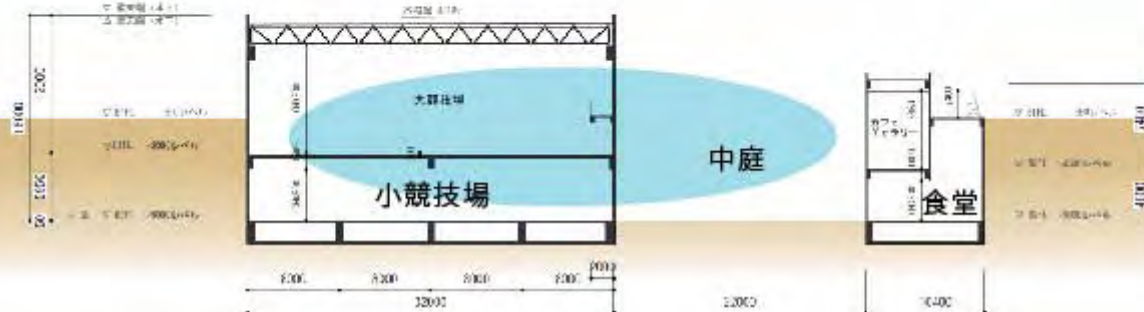
# 時間によるシェア。

中庭は、時と場合によってシェアされることが可能である。昼食時は食堂の延長として使われたり、部活動時は小競技場の延長として使われたり、イベント時は、一体的に使われることで、空間をフルに使うことができる。

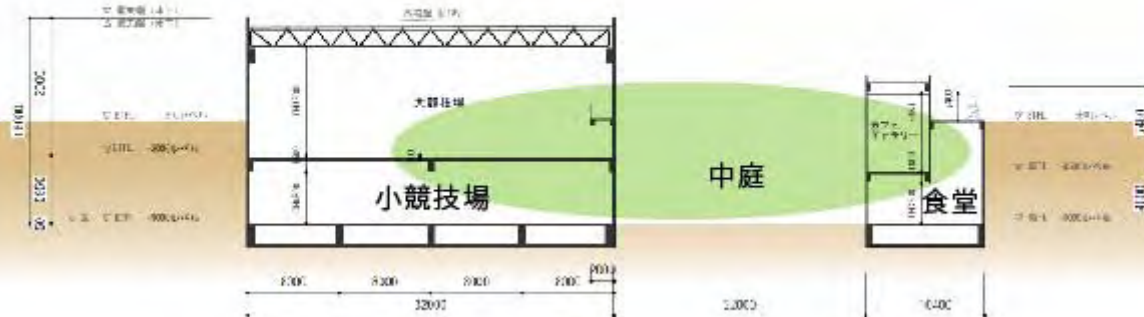
## ① 昼食時



## ② 部活動時



## ③ イベント時





# レンガと開口部。

ファサードデザインは、シンボルである新館を際立てるようレンガを継承した。また、各機能に応じた開口部やテラスを設けることによって賑わいが屋外に溢れ出すことを意図した。



連続する賑わい空間。



多目的室

購買

1F(GL±0) plan

# お、奥が楽しそうだ。

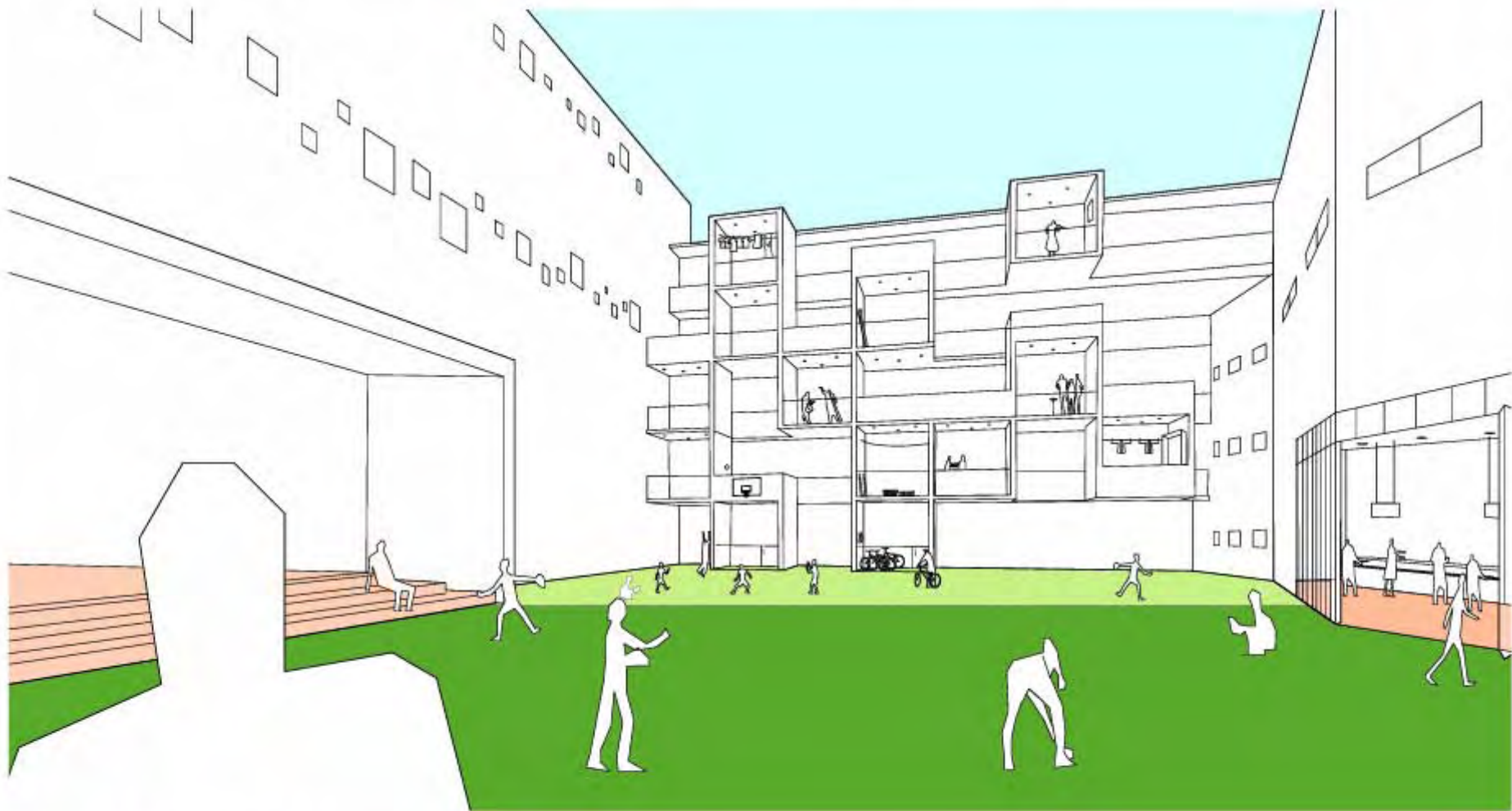
奥に中庭の賑わいが見える。また、  
右手のGLレベルには出店のような購  
買がある。その下には、大階段に沿  
って階段状の多目的室があり、活動  
の風景を楽しみながら階段を下ろ  
ることができる。



10:00 | アプローチより中庭方面を望む。



# 部活が、部室の外に溢れてくる。



17:00 | 中庭より部室を望む。

階段を下ると中庭が一望でき、それぞれのファサードが内側を向く。部室のテラスはデコボコ飛び出しており、活動も外に溢れ出し、賑やかな表情を見せる。また、左手の小競技場を飛び出して、中庭が運動部の活動場所として使われている。



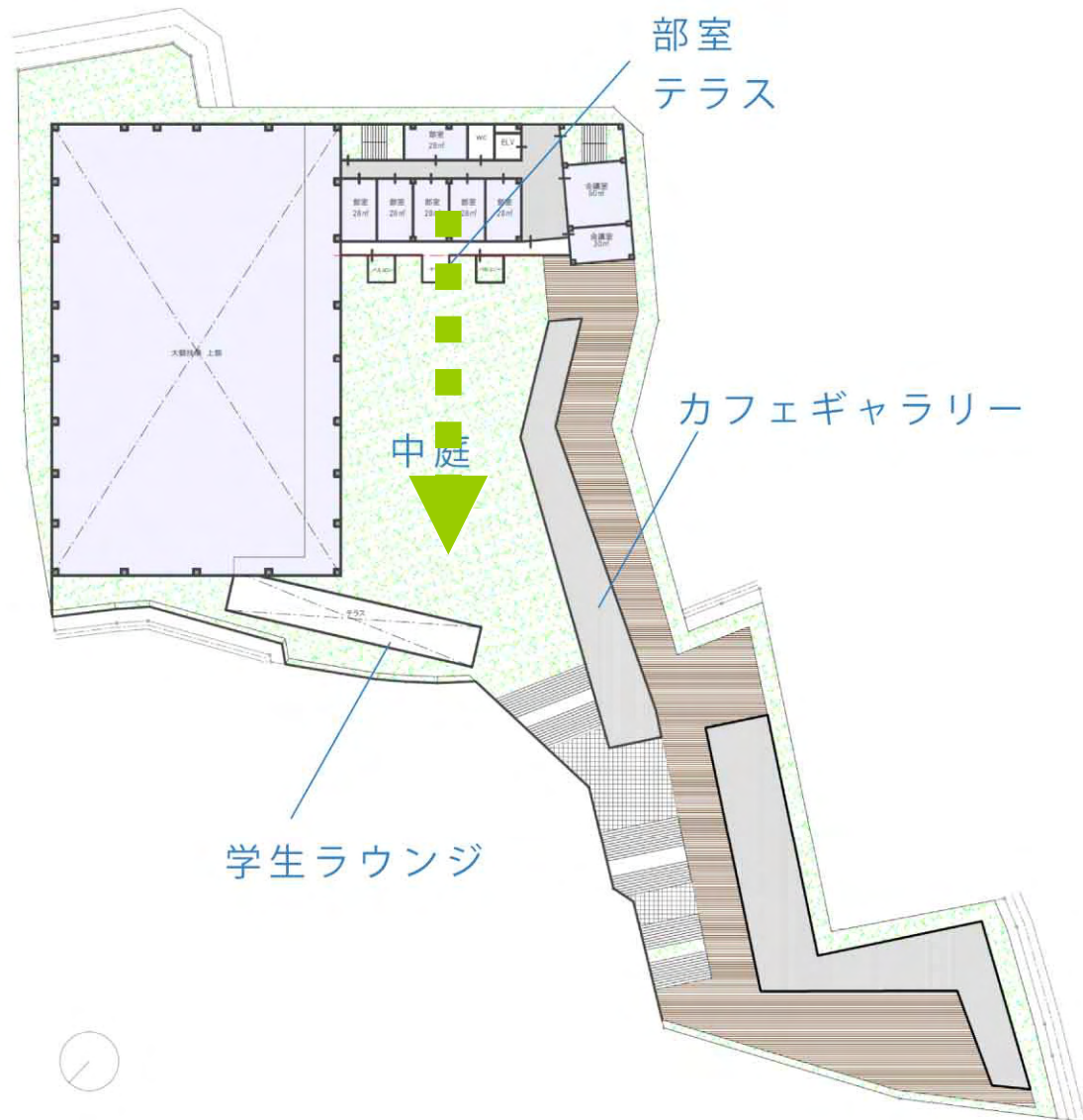
小競技場でのダンスを観ながら、  
食堂でのんびりランチ。



ダンスの発表などが行われている。  
小競技場がステージとなり、中庭や  
食堂が観客席となる。

12:00 | 学生食堂より小競技場を望む。





部室  
テラス

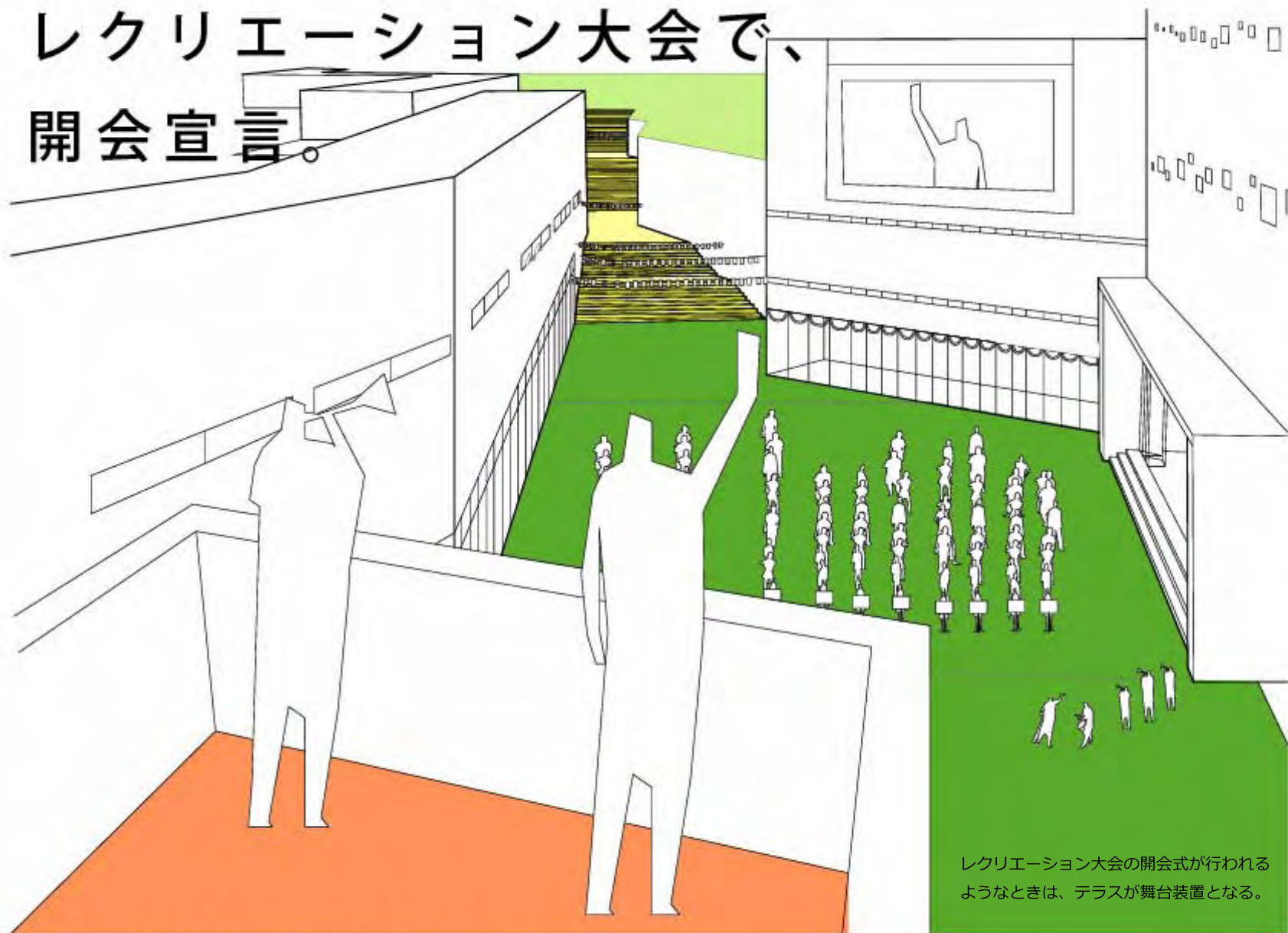
カフェギャラリー

中庭

学生ラウンジ

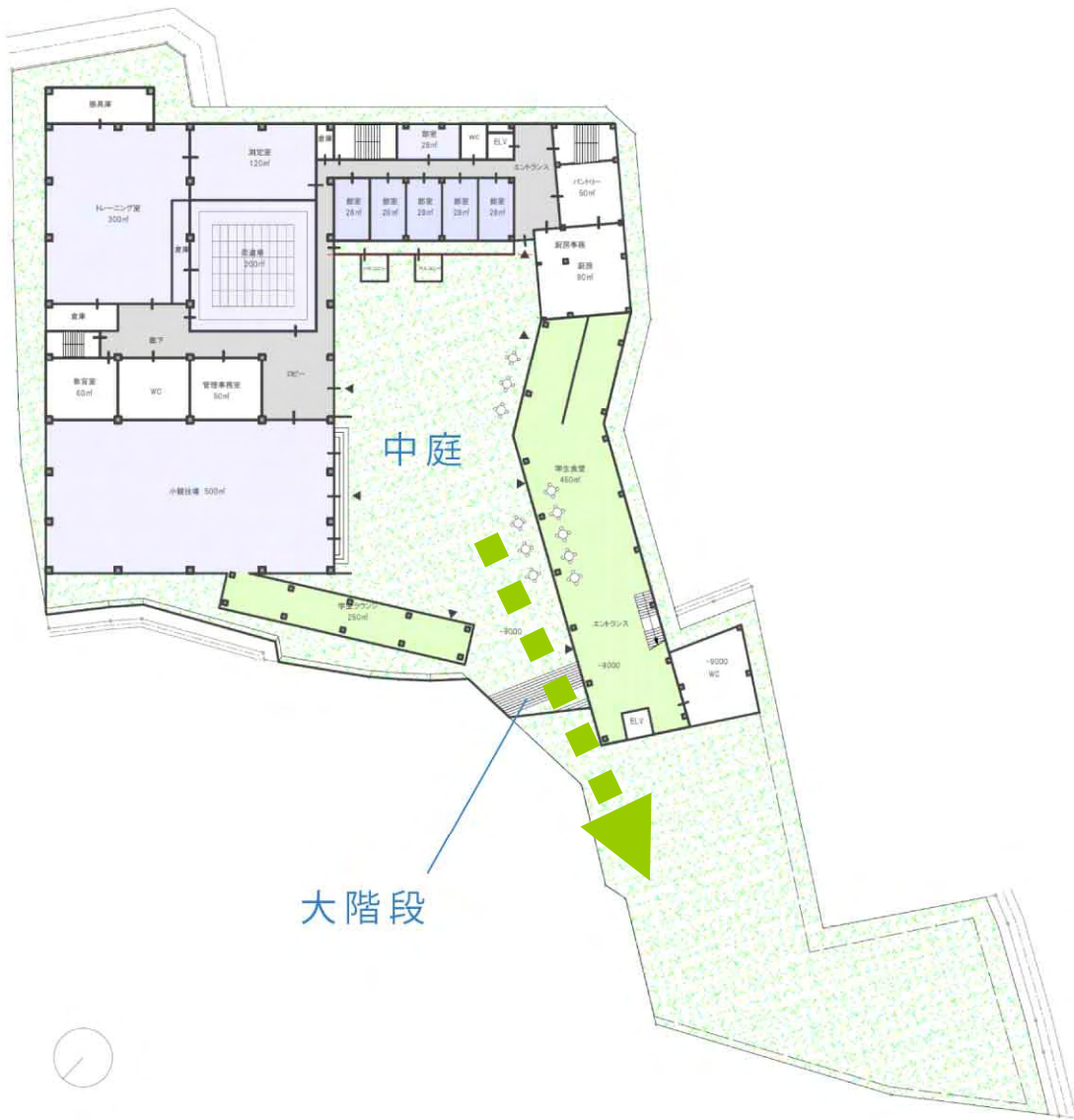
2F(+3000) plan

# レクリエーション大会で、 開会宣言。



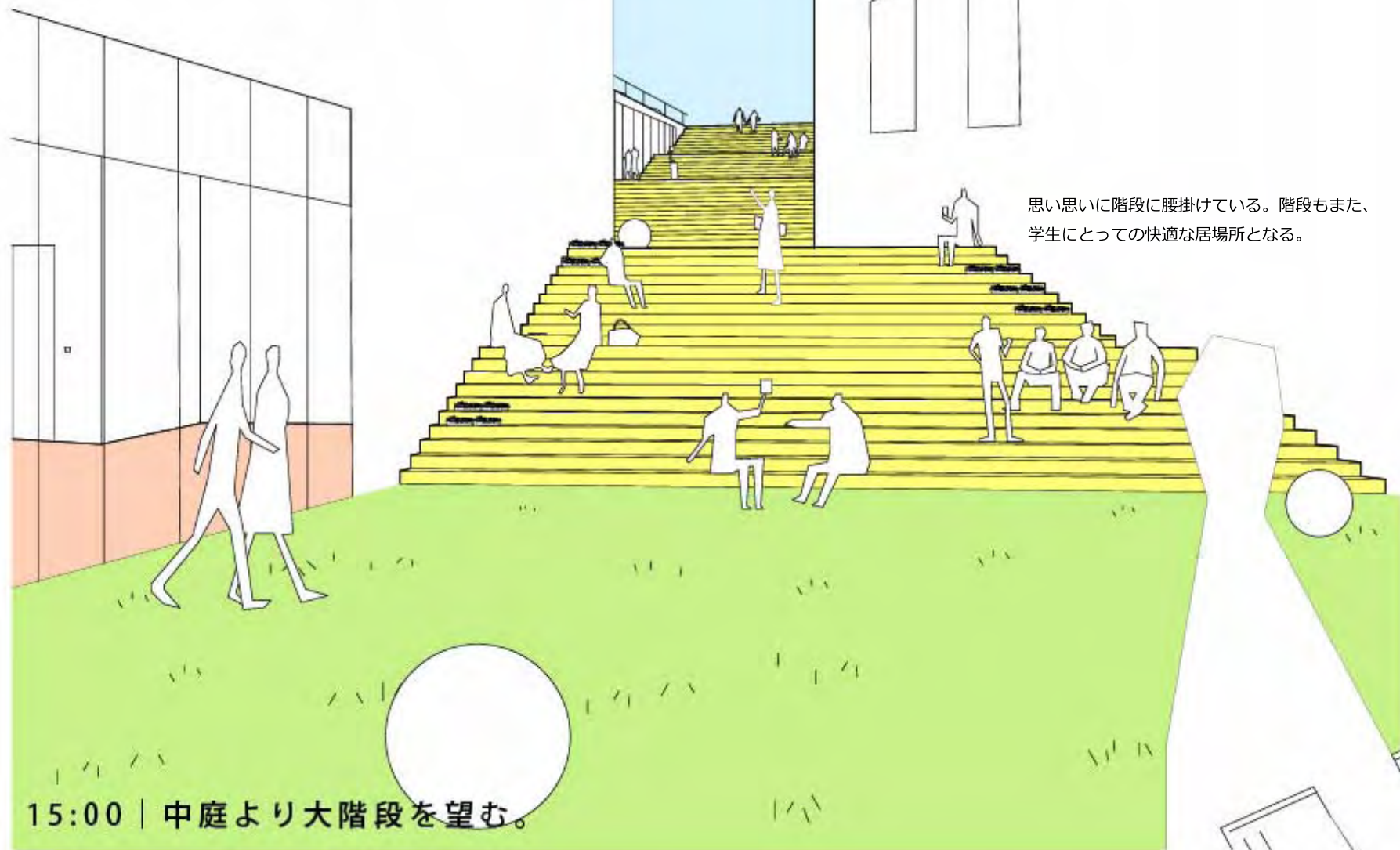
レクリエーション大会の開会式が行われる  
ようなときは、テラスが舞台装置となる。

9:00 | 部室テラスより中庭を望む。



B3F(-9000) plan

# 大階段に、座りたくなる。

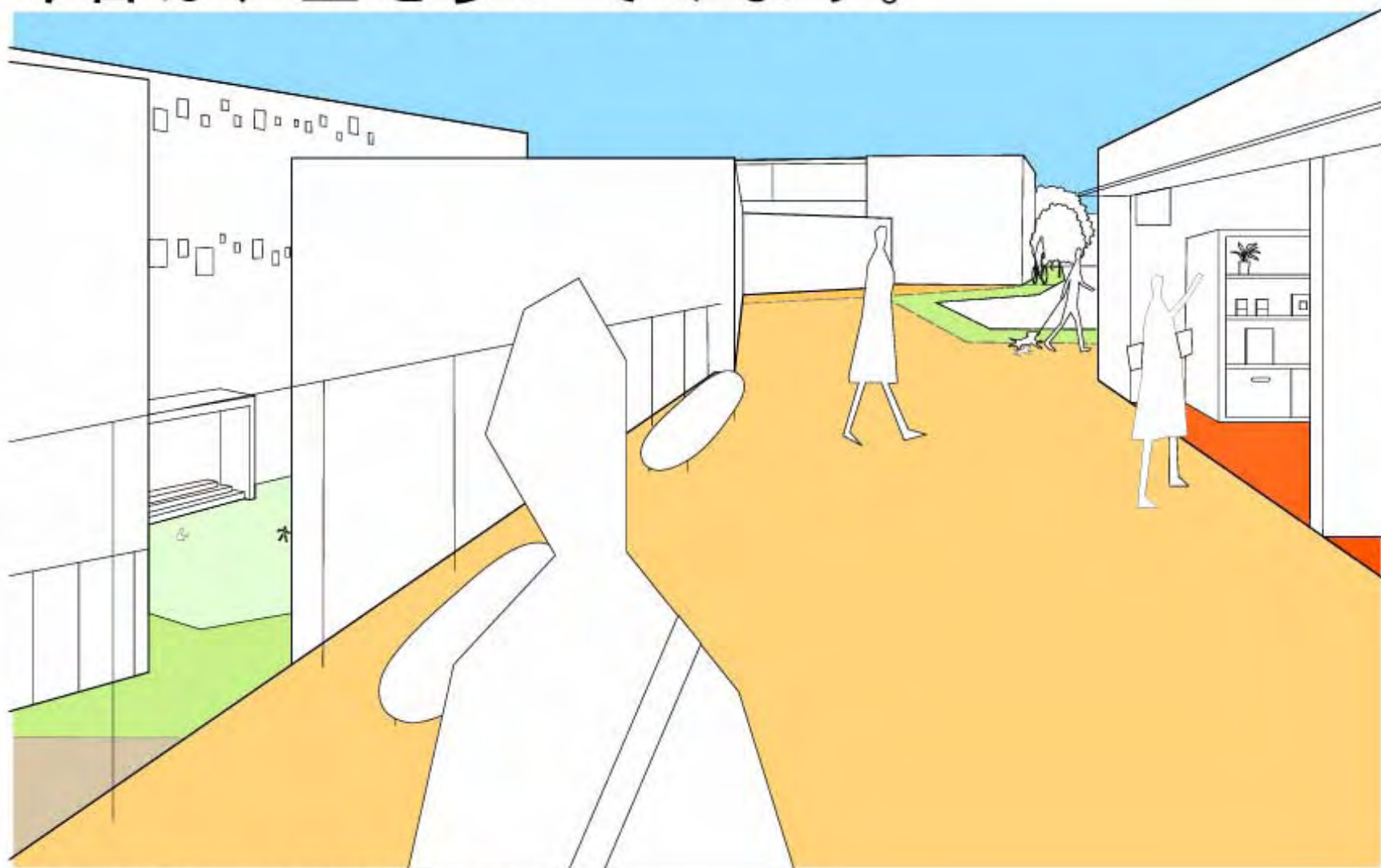


思い思いに階段に腰掛けている。階段もまた、学生にとっての快適な居場所となる。

15:00 | 中庭より大階段を望む。



今日は、上を歩いてみよう。



11:00 | 購買脇より学生食堂方面を望む。